

楠目小だより

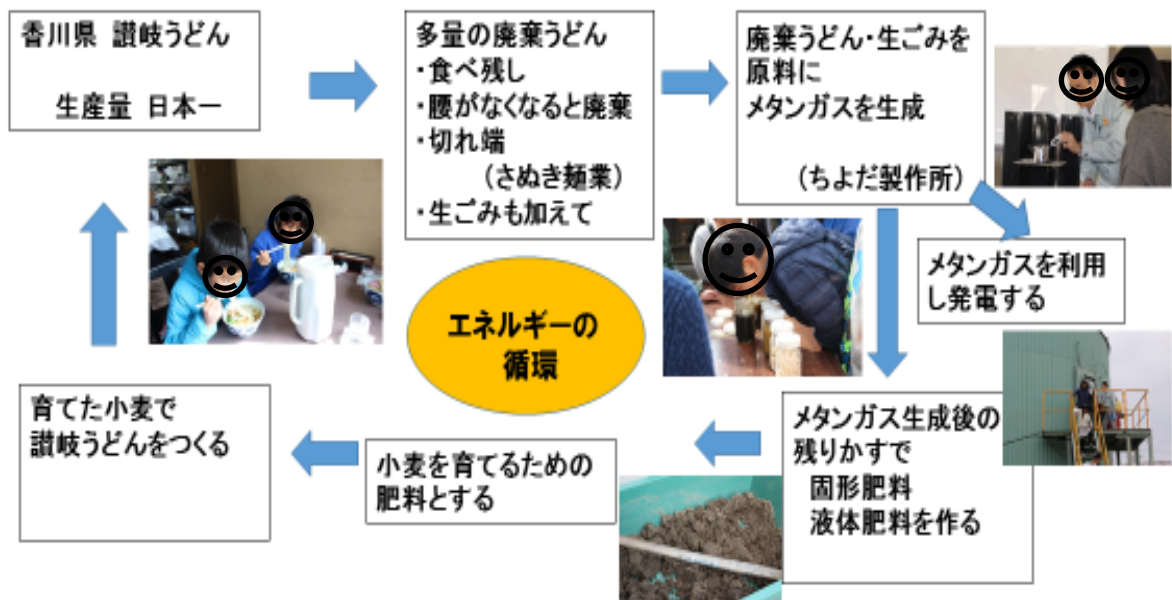
香美市立楠目小学校

平成 31 年 2 月 22 日（金）No.24

4 年生「さぬきうどんまるごとプロジェクト」を見学する

香川県はうどんの生産量日本一です。香川県は「うどん県」ともいわれ、「讃岐うどん」は全国にその名を知られています。2月15日に4年生がエネルギーについて学ぶため、廃棄される讃岐うどんを利用して発電を行っている、香川県高松市の「ちよだ製作所」と、市民が集まり作った太陽光発電所「うさんこ山未来発電所」を見学しました。

エネルギーの循環(うどんまるごと循環プロジェクト) —うどんまるごと循環コンソーシアム—



讃岐うどんは食べ残しがあったり、ゆでたうどんの「こし」がなくなったり、工場でする「切れ端」が出たりすると捨てられていたそうです。そこで、うどんの企業や機械メーカーや官庁が協働し、廃棄うどんに生ごみを加えて処理し、生成される「メタンガス」を利用した発電システムを開発して、稼働しています。

また、メタンガスを生成した後の残りものからは肥料が作られています。その肥料は、また、小麦を育てるために畑にまかれ、収穫された小麦から「さぬきうどん」が作られるそうです。

4年生はこの見学で、エネルギーを上手に回して使っていること、エネルギーの使い方について、働く人がそれぞれの立場で考え、工夫をしていることを感じてくれたことと思います。

また、4年生は社会科の学習で「都道府県」についても学んでいます。移動中のバスの中では、「都道府県ビンゴ」をしたり、高知県、愛媛県、香川県と移動するバスの車窓からそれぞれの土地の様子を見たりしました。バスの中では「高知道のトンネルの数」、「高速道路の崩落現場」、「愛媛県の製紙工場」、「瀬戸内海」や「ため池」、「金比羅山」、「レオマワールド」、「讃岐富士」などと知っていることを話してくれたことでした。